

（二）合祀関係

【二八】戦時又ハ事変ニ際シ軍人、軍属ニ非スシテ  
軍事行動ニ参加シ為ニ死歿シタル者ノ身分取扱ニ関  
スル件陸軍一般へ通牒（昭和十二年十二月六日陸密第  
一四六二号陸軍次官梅津美治郎）

秘

陸密第一四六二號

戦時又ハ事變ニ際シ軍人、軍属ニ非スシテ軍事行動ニ参  
加シ爲ニ死歿シタル者ノ身分取扱ニ關スル件陸軍一般へ  
通牒

昭和十二年十二月六日 陸軍次官 梅 津 美 治 郎

戦時又ハ事變ニ際シ軍人、軍属ニ非サル帝國臣民ニシテ戦地又  
ハ事變地ニ於テ陸軍部隊ノ長ノ指示ヲ受ケ軍事行動ニ参加シ爲  
ニ戦死又ハ戦傷（病）死シタル者ハ特ニ左記各號ノ取扱ヲ爲シ  
得ルコトニ定メラル

- 一、死歿ノ日ニ於テ當該部隊ノ軍属ト爲スモノトス
- 二、前號ノ規定ニ依ル軍属ノ身分ハ囑託員、雇員又ハ傭人トス  
前項ノ身分及手當（給料）額ノ決定ニ關シテハ一般ノ囑託員、  
雇員又ハ傭人ニシテ戦死者若ハ戦傷（病）死シタル者ノ例ニ  
依ル
- 三、前各號ノ規定ハ昭和十二年七月七日以後ニ於ケル死歿者ノ  
取扱ニ關シ之ヲ適用ス
- 四、本文ニ依リ軍属ト爲リタル者ノ身分取扱ト靖國神社合祀ノ  
恩典トハ別途考慮スヘキモノトシ該合祀ニ關スル進達ハ各部  
隊長ニ於テ特ニ慎重ナラシムヘキモノトス

【二九】合祀者資格審査上ノ参考事項（昭和十三年  
一月十三日第一回委員会決定）（昭和十三年一月十三  
日）

合祀者資格審査上ノ参考事項

（昭和十三年一月十三日第一回委員会決定）

- 一、滿洲國軍ニ雇傭中ノ帝國軍人ハ日本軍ノ隷下ニ於テ戦闘シ之  
カ爲戦死又ハ戦傷ヲ受ケ死歿シ其ノ情狀合祀ヲ適當ト認メタ  
ル者ニ限り特別ヲ以テ合祀ス
- 二、軍属ハ宣誓シタル者ニシテ眞ニ公務上ノ犠牲ト認メラルル者  
ニ限り特別詮議ヲ以テ合祀ス
- 三、昭和十二年陸密第一四六二號ニ依ル軍属ノ取扱ニ付テハ之ヲ  
後日詮議トス

【三〇】昭和十三年四月 靖國神社合祀者資格審査  
方針（昭和十三年一月）

昭和十三年 靖國神社合祀者資格審査方針

左記該當ノ者ヲ合祀ス

左 記

- 一、滿洲事變ニ關シ昭和六年九月十八日ヨリ昭和十二年十月十五  
日迄ノ間ニ戦死又ハ戦傷ノ爲死歿シタル軍人軍属
- 二、今回ノ支那事變ニ關シ昭和十二年七月七日ヨリ昭和十二年十  
月十五日迄ノ間ニ戦死又ハ戦傷ノ爲死歿シタル軍人軍属

【三一】昭和十三年十月 靖国神社合祀者資格審査方針（昭和十三年七月一日）

昭和十三年七月一日決定

昭和十三年 靖国神社合祀者資格審査方針

- 一、軍人軍屬等ニシテ滿洲事變ニ關シ昭和六年九月十八日ヨリ昭和十二年十月三十一日迄ノ間ニ於テ死歿シタル者及支那事變ニ關シ昭和十二年七月七日ヨリ昭和十二年十月三十一日迄ノ間ニ於テ死歿シタル者左記ニ該當スルトキハ之ヲ合祀ス
- 1、戦死又ハ戦傷ノ爲死歿シタル者
- 2、事變地滿洲國（關東州ヲ除ク）、北支那及中支那方面ヲ言フ、以下同シニ於テ流行病ニ罹リ又ハ自己ノ重大ナル過失ニ因ラスシテ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ之カ爲死歿シタル者
- 3、事變地以外ノ地ニ於テ事變ニ關スル公務ノ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ又ハ避クヘカラサル災厄ニ因リ死歿シタル者
- 4、事變地ニ於テ自殺シタル者等ニシテ其ノ情狀合祀ヲ至當ト認ムヘキ者

【三二】合祀者資格審査上ノ参考事項（昭和十三年七月一日）

合祀者資格審査上ノ参考事項

- 一、軍屬ハ宣誓シタル者ニシテ眞ニ公務上ノ犠牲ト認メラルル者ニ限り特別詮議ヲ以テ合祀ス
- 二、滿洲國軍ニ雇傭中ノ帝國軍人ハ日本軍ノ隷下ニ於テ戦闘シ之カ爲戦死又ハ戦傷ヲ受ケ死歿シ其ノ情狀合祀ヲ適當ト認メタル者ニ限り特別詮議ヲ以テ合祀ス
- 三、召集セラレサル事變地居住ノ在郷軍人ハ所屬軍人會ノ命ニ依リ且日本軍隊ノ區處ヲ受ケテ行動シ之カ爲戦死又ハ戦傷ヲ受ケ死歿シ其ノ情狀合祀ヲ適當ト認メタル者ニ限り特別詮議ヲ以テ合祀ス
- 四、事變地以外ニ於テ流行病ノ爲死歿シタル者ハ其ノ發病事變ニ關スル公務ニ基因シ且敍勳ニ該當スヘキ功績アル者ニ限り特別ヲ以テ合祀ス

【三三】戦傷、戦病等ノ定義ニ関スル件陸軍一般へ通牒（昭和十三年十月十四日陸普第六三三一號）

陸普第六三三一號

戦傷、戦病等ノ定義ニ關スル件陸軍一般へ通牒

昭和十三年十月十四日 陸軍省副官 國分新七郎

首題ノ件左記ノ通定メラレタルニ付依命通牒ス

左記

- 一 戦傷トハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノヲ謂フ
  - (イ) 敵ノ使用シタル兵器ニ因リ被リタル損傷
  - 例ハハ銃創、砲創、爆傷、白兵創、介達彈創、瓦斯傷等
  - (ロ) 彼我直接ノ戦闘手段ニ因ル外傷及不慮
  - 例ハハ戦闘中ノ不慮ニ因ル外傷、敵ノ投石又ハ敵トノ格闘ニ因リ受ケタル外傷、敵ノ作爲シタル爆藥又ハ爆撃等ノ爲ニ生シタル建築物、列車、自動車、航空機等ノ破壊、轉覆、不時著等ニ因ル外傷、乗馬銃創等ヲ受ケタル結果轉落シタル爲ノ外傷、渡河、航海、上陸途中等ニ於テ敵彈ノ爲ニ船ノ沈没ニ因ル溺水等
  - (ハ) 原因敵ノ謀略ニ在リト確認セラレタル疾病
  - 二 戦死ト戰場死亡及隊編帶所又ハ編帶所ヲ經タルト否トニ拘ラス野戦病院又ハ之ニ準スル機關（例ハハ野戦病院ノ如キ勤務ヲ爲ス衛生班）ニ收容セララルル迄ニ戦傷ニ因リ死亡シタルモノヲ謂フ
  - 三 戦傷死トハ野戦病院又ハ之ニ準スル機關（之ヲ含ム）ヨリ後方（内地ヲ含ム）ニ於テ直接戦傷ニ起因シ死亡シタルモノヲ謂フ
  - 四 戦病トハ戦地又ハ事變地ニ於テ公務ニ因リ受傷若ハ罹患セル傷痍疾病（戦傷ヲ除ク）ヲ謂フ
  - 五 戦病死トハ前號戦病ニ起因シ死亡シタルモノヲ謂フ

【三四】靖国神社合祀名簿ニ於ケル戦死、戦傷死ノ取扱方（昭和十四年一月十六日）

靖国神社合祀名簿ニ於ケル戦死、戦傷死ノ取扱方 昭一四、一、一六

- 一、昭和十三年十月臨時大祭迄ハ戦死、戦傷死ノ區別ハ大体左記基準ノ下ニ実施シ來レリ審査委員 古田軍医 少佐ノ指示ニ據ル
- 受傷後戦線ヨリ縋帶所迄ノ間ニ於テ死亡ノ場合ハ戦死トシ同所ヨリ後方ニ於テ死亡ノ場合ハ戦傷死トス
- 即チ縋帶所ヲ以テ兩者區別ノ劃線トセリ
- 然ルニ左ノ如ク陸軍一般ニ通牒セラレ兩者ノ區別ハ野戦病院ヲ以テ為スヘキ旨明確ニ定メラレタリ
- 戦傷、戦病等ノ定義（昭三三、三〇、一四） 拔萃
- 戦死トハ戦場死亡及隊縋帶所又ハ縋帶所ヲ經タルト否トニ拘ラス野戦病院又ハ之ニ準スル機関（例ヘハ野戦病院ノ如キ勤務ヲ為ス衛生班）ニ收容セララル迄ニ戦傷ニ因リ死亡シタルモノヲ謂フ
- 戦傷死トハ野戦病院又ハ之ニ準スル機関（之ヲ含ム）ヨリ後方（内地ヲ含ム）ニ於テ直接戦傷ニ起因シ死亡シタルモノヲ謂フ
- 右陸普ノ其準ニ從フトセハ靖国神社合祀名簿ニ於テハ左記ノ如キ矛盾ヲ生スルコトナルヘシ
- 一、戦闘ナカリシ地點ニ於テ戦死
- 二、戦闘ヨリ相當時日ヲ置キテ戦死
- 殊ニ傷病者ノ航空輸送行ハル、近代戦ニ於テハ右戦死ノ矛盾ハ愈々多キヲ加フル筈ナリ
- 然レトモ靖国神社合祀ニ関シテハ敢テ右陸普ニ準據セサルヘカラサル理由ナク從來通りノ基準ニテ差支ナキモノト解ス其ノ理由左ノ如シ
- 一、右陸普ノ立案要旨ハ「戸籍謄本ニ「戦死」「戦傷死」ヲ明記シ勇士ニ酬ユル如ク規定セラレタルニ依リ其ノ區分ヲ統制明瞭ナラシムル要アリ」ニシテ戦死者ノ表忠ヲ目途トス
- 二、合祀名簿ニ於テハ兩者ノ區別ハ合祀者トシテノ待遇上ノ差別ハ何等ナク全ク事務上ノ方便ニ過キササルモノトス
- 三、然ラハ合祀名簿（特ニ合祀カード調製上）ニ於テハ右陸普ニ準據セス從來通りノ基準ニテ進ムモ差支ナカラン
- 四、但シ右陸普ニ基キ部隊長ヨリ戸籍吏ヘノ通報ハ從來戦傷死ナ

リシモノモ大方戦死トシテ通報セラルルヲ以テ合祀名簿審査ノ際ニハ死亡年月日・死亡場所ニ重點ヲ置キ名簿ト戸籍トノ字句（戦死ト戦傷死）ノ相違ニハ拘泥セサル如ク處理スルヲ要ス

事例

昭和十二年十月十一日支那江蘇省宝山縣温藻濱クリーク附近ニ於テ戦闘中負傷シ隊縋帶所ニテ第一縋帶ヲナシ大王宅第百一師團第二野戦病院ニ輸送途中該傷ニ因リ死亡

（戸籍）

昭和十二年十月十一日中華民國江蘇省宝山縣温藻濱附近ノ戦闘ニ於テ戦死

（合祀カード）

昭和十二年十月十一日支那江蘇省温藻濱クリーク附近ニ於テ戦闘中負傷同日後送途中該傷ニ因リ死亡

【三五】昭和十四年四月 靖国神社合祀者資格審査方針（昭和十四年一月十九日）

昭和十四年一月十九日 調査委員會 決定 昭和十四年 靖国神社合祀者資格審査方針

- 一、軍人軍屬等ニシテ滿洲事變ニ關シ昭和六年九月十八日ヨリ昭和十二年十二月三十一日迄ノ間ニ於テ死歿シタル者及支那事變ニ關シ昭和十二年七月七日ヨリ昭和十二年十二月三十一日迄ノ間ニ於テ死歿シタル者左記ニ該當スルトキハ之ヲ合祀ス
- 1. 戦死又ハ戦傷ノ爲死歿シタル者
- 2. 事變地滿洲國、關東州ヲ除ク、北支那及中支那方面ヲ言フ、以下同シニ於テ流行病ニ罹リ又ハ自己ノ重大ナル過失ニ因ラスシテ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ之カ爲死歿シタル者
- 3. 事變地以外ノ地ニ於テ事變ニ關スル公務ノ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ又ハ避クヘカラサル災厄ニ因リ死歿シタル者
- 4. 事變地ニ於テ自殺シタル者等ニシテ其ノ情狀合祀ヲ至當ト認ムヘキ者

【三六】合祀者資格審査上ノ参考事項（昭和14年1月19日）

合祀者資格審査上ノ参考事項

- 一 軍屬ハ宣誓シタル者ニシテ眞ニ公務上ノ犠牲ト認メラルル者ニ限り特別詮議ヲ以テ合祀ス
- 二 滿洲國軍ニ雇傭中ノ帝國軍人ハ日本軍ノ隷下ニ於テ戰闘シ之カ爲メ戦死又ハ戦傷ヲ受ケテ死シ其ノ情狀合祀ヲ適當ト認メタル者ニ限り特別詮議ヲ以テ合祀ス
- 三 召集セラレサル事變地居住ノ在郷軍人ハ所屬軍人會ノ命ニ依リ且日本軍隊ノ區署ヲ受ケテ行動シ之カ爲メ戦死又ハ戦傷ヲ受ケテ死シ其ノ情狀合祀ヲ適當ト認メタル者ニ限り特別詮議ヲ以テ合祀ス
- 四 傷病治療後再發若ハ餘病發生ノ爲メ死亡セル者ハ負傷又ハ罹病後滿三年ヲ經過セサルモノニ限り詮議ス
- 五 事變地以外ニ於テ流行病ノ爲メ死シタル者ハ其ノ發病事變ニ關スル公務ニ基因シ且斃勳ニ該當スヘキ功績アル者ニ限り特別ヲ以テ合祀ス
- 六 昭和十二年陸密第一四六二號ニ依ル軍屬ノ取扱ニ就テハ之ヲ特ニ慎重ニ詮議ス
- 七 特別合祀（乙）軍屬ニ就テハ特ニ左記各項ニ據ル
  - 1. 文官ニ就テハ流行病ハ軍人ニ準シテ詮議ス
  - （肺結核及之ニ類スル呼吸器病ハ事變地在職五ヶ月以上ニ限り）
  - 2. 雇員、傭人ニ就テハ眞ニ公務上ノ犠牲ト認メラルル者ニ限り
  - 3. 傭人中編制中ニアル職工（工員）ハ第1號ニ準ス
  - 六 軍人軍屬以外ノ警察官又ハ滿鐵社員等ノ如キハ軍人軍屬戰死ト同様ノ情況ニ於テ殉職シタル者ニ限り特ニ詮議スルモ嚴選ヲ旨トス
  - 六 以上各項ニ據リ難キ者ノ合祀資格審査ニ就テハ其ノ都度詮議スルモノトス

【三七】靖国神社合祀未済者調査ノ件訓令（昭和14年3月9日官房第一二六三号海軍大臣発関係所属長官宛）

靖国神社合祀未済者調査ノ件訓令

昭和六年乃至九年事變及今次支那事變ニ關シ昭和十三年五月三十一日迄ニ死シタル左記該當ノ軍人軍屬等ニシテ靖国神社ニ合祀未済ノ者ヲ鎮守府司令長官ハ在籍特務士官以下ノ軍人並ニ所屬判任官以下ノ軍屬等ニ付、其ノ他ノ所屬長官ハ所屬判任官以下ノ軍屬等ニ付調査ノ上別紙書式ノ名簿ニ戸籍抄本ヲ添へ來七月三十一日迄ニ本省ニ到達スル如ク提出スベシ

記

- 一 戦死又ハ戦傷ノ爲メ死シタル者
- 二 事變地ニ於テ流行病ニ罹リ又ハ自己ノ重大ナル過失ニ因ラズシテ溺水シ又ハ傷痕ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ之ガ爲メ死シタル者
- 三 事變地以外ノ地ニ於テ事變ニ關スル公務ノ爲メ溺水シ又ハ傷痕ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ之ガ爲メ死シタル者
- 四 事變地ニ於テ自殺シタル者等ニシテ其ノ情狀合祀を至當ト認ムベキ者

（別紙）  
書式（用紙美濃紙）

靖国神社合祀海軍軍人軍屬名簿

官(職)位勳功爵氏名	生 年 月 日	本 籍 地	遺 族		所屬艦船部隊
			現 住 所	續柄及氏名	
					軍艦何、第何驅逐隊、何特別陸戰隊、何航空隊等
					昭和何年何月何日何地ノ戰闘ニ於テ腹部貫通銃創（何々）ヲ受ケ戦死又ハ

死 亡 事 由

昭和何年何月何日何々空襲ノ際敵防禦砲火ヲ被リ何々地ニ突入（何々）戦死又ハ  
昭和何年何月何日何地ノ戰闘（匪賊討伐）ニ於テ左胸部首貫砲彈彈片創（何々）ヲ受ケ負傷、何年何月何日何病院（何地）（何）ニ於テ該傷ニ因リ死亡又ハ  
昭和何年何月何日何々空襲爆發後行方不明トナリ何月何日戦死ト認定又ハ  
昭和何年何月何日何地ニ於テ事變ニ關スル勤務ニ從事中公務ノ爲メ病ニ罹リ何年何月何日兵役免除何年何月何日何病院（何地）（何）ニ於テ死亡

備 考

- (イ) 本名簿に添付スベキ戸籍抄本ハ同一戸籍内ニアル者ノ全部ノ名及續柄等（事項省略）並ニ本人死亡ノ事項ヲ記載シアルモノナルコト
- (ロ) 事變地以外ノ地ニ於ケル溺水、傷痕及疾病ニ依ル死歿者ハ事變ニ直接關係スル公務ニ基因シ事變功績特ニ顯著ナル者ニ限り
- (ハ) 事變地ニ於テ自己ノ重大ナル過失ニ因ラズシテ溺水シ又ハ傷痕ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ死シタル者、事變地以外ノ地ニ於テ事變ニ關スル公務ノ爲メ溺水シ又ハ傷痕ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ之ガ爲メ死シタル者及事變地ニ於テ自殺シタル者ニアリテハ負傷罹病等ノ原因及經過ヲ記載シタル書類ヲ添付スルコト
- (ニ) 兵役免除又ハ退職後自宅等ニ於テ死亡シタルモノハ前號ノ書類ニ地方醫師ノ診斷書ヲ添付スルコト
- (ホ) 傷痕、疾病ニ依ル死歿者ハ其ノ負傷又ハ發病ノ日ヨリ概ネ三年以内ニ於テ死シタルモノニ限り
- (ハ) 本名簿ハ一枚ニ一名限リ記載スルコト
- (イ) 本名簿ハ事變別ニ且第一號ニ屬スルモノ及第二號以下ニ屬スルモノトニ区分シ官等順ニ（同一官等ノモノハ死亡日ノ前後ニ依ル）假綴トシ一連名簿ヲ附スルコト

【三八】生死不明者取扱ニ関スル件陸軍一般へ通牒  
（昭和十四年十一月八日陸密第一九一七号）

祓  
陸密第一九一七号

生死不明者取扱ニ關スル件陸軍一般へ通牒

昭和十四年十一月八日 陸軍省副官 川原直一

生死不明者ノ取扱方ニ關シテハ既ニ夫々諸規定ニ依リ實施セラレアルモ尙疑義ノ點アルヤニ存セラル、ニ付關係條項ヲ蒐録シ左記參考ノ爲通牒ス

左記

- 一 戰地又ハ事變地ニ於テ生死不明者ヲ生シタルトキハ戰時死亡者生死不明者報告手續第三條ニ依リ事故者ノ留守擔當者へ内報スベキモノトス
- 二 民法第三十條（失踪ノ宣告ノ件）ニ規定スル戰爭ノ止ミタル後三年トハ事變全ク終了後三年ト解スルコトナク「其ノ從事シタル戰鬪行動ノ止ミタル後三年」ト解シ取扱フモノトス（司法省民事局へ連絡濟）
- 三 戰地又ハ事變地ニ於テ生死不明ト爲リタル者ハ其ノ所屬隊ノ定員外トシ俸給、給料ハ其ノ期間不在者ノ財産管理人又ハ留守擔當者ニ支給スベキモノトス但シ留守宅渡ハ本人ノ指定セル者ニ支給ス
- 從テ其ノ身分及遺家族ニ對スル援護等ハ現役又ハ應召中ノ者ト同様ナリ（明三八滿發三〇六二參照）
- 四 生死不明者ノ被位被勳ハ保留セラル、ニ付既ニ上申中ノ者在リテハ陸軍被位手續第八條及陸軍被勳上申手續第八條ニ依リ速ニ陸軍大臣ニ報告スベキモノトス又恩給在職年ニ關シテハ恩給法第四十條ノ二及同第四十一條第五項ヲ適用セララル、コトアルヲ顧慮スルヲ要ス
- 五 所屬長ノ死亡ノ認定アル場合ニ於テハ一般戰歿者ト同様ノ取扱トナルモ凡テノ思典拜受後萬一歸投又ハ生存セルコト判明セバ恐懼ノ事類ヲ惹起スベキニ依リ之ガ決定ハ最モ慎重ヲ要ス
- 六 死體發見ノ場合ハ死亡事由ノ生ジタル日ニ於テ死亡シタルモノト確認シ得ルモノニ在リテハ其ノ死亡事由ノ生ジタル日

ヲ死亡日トシ其ノ死亡事由ノ生ジタル月日ノ不明ナルモノニ在リテハ死體發見ノ日ニ於テ死亡セシモノトシテ取扱フ（明三八滿發三〇六一參照）  
七 除隊又ハ召集解除ト見做サル、時期ハ生死不明ト爲リタル日ヨリ三年以内ニ生存スルコト判明シタルトキ又ハ三年ヲ經過シ尙不明ナルトキトス（動員計畫令細則第四八〇條參照）

【三九】昭和十五年四月 靖国神社合祀者資格審査委員会決定事項（昭和十五年二月二日）

秘

昭和十五年 月靖国神社合祀者資格審査委員会決定事項  
（昭和十五年二月二日）

- 一、南支作戦ノ交事変地ヨリ臺灣ニ輸送セラレ其間ニ於ケル事故ハ事変地ノ延長トシテ取扱フモ傳染病、不慮死ハ特殊ノモノニ付テハ各個人ノ事變動務ト死因トノ因果關係ヲ考慮シ詮議スルモノトス
- 二、戰傷者他ノ疾病ヲ併發シ該疾病ニ因リ死亡ト認メラルル者ニシテ部隊ノ進達（甲）ナル場合ニ在リテハ委員ニ於テ合祀特別合祀ヲ判定ス
- 三、内地ニ於ケル罹病又ハ死歿ハ原則トシテ嚴選トス其一般要領左ノ如シ
  - 1、出征途上ノ發病ハ特ニ嚴選ス
  - 2、内地歸還後ノ發病殊ニ流行病ハ戰地勤務ト當時戰地ニ於ケル流行病ノ猖獗情況等直接因果關係アリヤ否ヤニ留意シ、又ハ不慮死ハ事變動務ト死因トノ因果關係ヲ考慮スヘキモノトス
  - 3、動員部隊勤務中ノ區分ハ現役、豫後備役ノ兵種ヲ考慮シ嚴選スルモノトス
  - 4、内地病院ニテ傳染病取扱ニ依リ死亡シタル看護婦等ハ同病院ニ於ケル事變動務ノ傳染病ニヨルヤヲ精細ニ調査シタル後詮議ス
- 四、陸密軍屬ト宣誓ナキ軍屬トノ取扱ニ就テハ部隊ニ於テ陸密ヲ知ラサル爲不均衝トナルコトナキ様注意ヲ要ス
- 又軍屬ハ兵ヨリ嚴選主義トシ死亡當時ノ任務及情況ニ因リ詮議スルヲ原則トシ審査ハ有宣誓軍屬及陸密軍屬、無宣誓軍屬ノ順位ニ據リ考慮スルモノトス宣誓ナキ軍屬ハ根本的ニハ編制内ニ在ラサルコトナリ又中ニハ多額ノ報酬等ヲ受け必任義務ノ兵等トハ全ク其趣ヲ異ニスルヲ考慮スル要アリ
- 無宣誓ノ看護婦等ニ在リテハ身分の性質即チ所謂居留民等ノ義勇看護婦ノ類ニアラサルヤヲ考慮スヘキモノトス
- 五、臺灣人ノ軍夫ハ無宣誓軍屬ヨリ尙順位低キモノトシテ考慮スヘキモノトス死亡原因カ軍ノ一員トシテ其ノ指揮下ニ於テ

戦死シタル場合ニ限り合祀スルヲ適當トス  
六、病死ハ其種類及期間ニツキ概ネ左ノ標準ニヨリ詮議ス

1. 在満期間 脚氣、肺結核、胸膜炎等ハ三ヶ月以上  
在支期間 二ヶ月以上

但發病地ノ風土等ノ關係、國境方面、南滿方面、服務部隊  
等ニヨリ若干其期間ヲ考慮ス

2. 有宣誓軍屬等ハ右疾病ノ場合  
在満期間 半ヶ年以上  
在支期間 三ヶ月以上

3. 無宣誓軍屬ハ更ニ期間ヲ延長スルモノトス尙急性肺炎及蟲  
様突起炎（既往症アル場合ハ除外）等ハ期間ニ付考慮ス

七、死体収容セサルモノハ凡テ収容セラルルニ至ルカ又ハ決定期  
間經過後詮議ス

【四〇】昭和十五年十月 靖国神社合祀者資格審査  
方針（昭和十五年五月三十一日）

昭和十五年五月三十一日  
調査委員會決定  
昭和十五年  
靖国神社合祀者資格審査方針

一、軍人軍屬等ニシテ滿洲事變ニ關シ昭和六年九月十八日より  
昭和十三年九月三十日迄ノ間ニ於テ死歿シタル者及支那事變

ニ關シ昭和十二年七月七日ヨリ昭和十三年九月三十日迄ノ間  
ニ於テ死歿シタル者左記ニ該當スルトキハ之ヲ合祀ス

1、戦死又ハ戦傷ノ爲死歿シタル者

2、事變地 滿洲國（關東州ヲ除ク）、自昭和十三年八月十四日雄基洞灰岩洞、新  
阿山洞、上角山ヲ連ナル線以東ノ朝鮮、北支那、中支那及南支  
那ヲ言フ、ニ於テ流行病（ペスト、コレラ、赤痢、  
以下同シ）  
腸チフス、バラチフス、痘瘡、猩紅熱、發疹チフ  
ス、ヂフテリヤ、流行性腦脊髄膜炎麻疹、回歸熱、  
マラリヤ、ワイルス氏病、カラザールヲ言フ、以  
下同シ）ニ罹リ又ハ自己ノ重大ナル過失ニ因ラス  
シテ傷痕ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ之カ爲死歿シタル  
者

3、事變地以外ノ地ニ於テ事變ニ關スル公務ノ爲傷痕ヲ受ケ  
若ハ疾病ニ罹リ又ハ避クヘカラサル災厄ニ因リ死歿シタ  
ル者

4、事變地ニ於テ自殺シタル者等ニシテ其ノ情狀合祀ヲ至當  
ト認ムヘキ者

二、前項事變地ニ在リテモ昭和十三年五月二十日以降滿洲國  
（關東州ヲ除ク）ニ於テ流行病ニ罹リ又ハ自己ノ重大ナル過  
失ニ因ラスシテ傷痕ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ之カ爲死歿シタル  
者ニ付テハ特別詮議ヲ以テ合祀ス  
（註）

昭和十三年五月二十日ハ徐州陥落ノ翌日トス

【四一】靖国神社合祀者ノ詮衡及合祀名簿進達ニ関  
スル注意事項ノ件陸軍一般へ通牒（昭和十五年八月十四  
日陸支普第一七二二号）

陸支普第一七二二號

靖国神社合祀者ノ詮衡及合祀名簿進達ニ關スル注  
意事項ノ件陸軍一般へ通牒

昭和十五年八月十四日 陸軍次官 阿南 惟 幾

靖国神社ノ御創建ハ一二 叡慮ニ出ツ仍チ其ノ合祀ハ戰役事變  
ニ際シ國家ノ大事ニ斃レタル者ニ對スル神聖無比ノ恩典ナリ是  
ヲ以テ其ノ衡ニ當ル者ハ常ニ敬虔ニシテ公明ナル心ヲ以テ處  
理スヘキモノトス各部隊ノ合祀上申ハ概ネ適當ニ實施セラレ  
ルモ中ニハ強テ事由ヲ戰役事變ニ關連セシメ或ハ充分ナル詮議  
ヲ經スシテ戰地ニ在ルモノ必ス合祀セラルヘキモノナリト爲ス  
カ如キ觀念ノ下ニ上申シ或ハ此ノ神聖ナルヘキ決裁ヲ下僚ニ委  
シテ放任シアルニアラサルヤ疑ハシムルモノアリ斯クノ如キ  
ハ其ノ本義ニ悖リ神靈ノ尊嚴ヲ冒スニ至ルノ虞アルヲ以テ各部  
隊ニ於テハ靖国神社合祀者ノ詮衡及合祀名簿ノ進達ニ方リ紋上  
ノ趣旨ニ則リ左記諸項ニ格段ノ注意ヲ致サレ度通牒ス

左 記

其一 合祀資格ノ詮衡

陸軍部隊ニ於テ進達スヘキ資格者ハ軍人、軍屬タルコト及死歿  
ノ原因事變勤務ニ直接基因スルモノナルヲ要シ且此等ニ在リテ  
モ其ノ實質ヲ精査考究シテ詮衡スヘキモノトス即チ軍人ニ在リ  
テハ事變ニ際シ其ノ勤務ハ凡テ事變勤務ト謂フヲ得ヘシト雖モ  
内地ニ於ケル凡有ル平病ヲ事變勤務直接基因ト稱シ得サルヘク  
又事變地ニ於テモ勤務忌避ノ結果自殺シタル者、私情ニ趨リ爲  
ニ傷害ヲ受ケテ死歿シタル者、軍紀ヲ紊リ脱營逃亡シテ土匪等  
ニ被害セラレタルカ如キ者等ヲ盡ク有資格者ト認ムルカ如キハ  
當ヲ得サルモノニシテ死歿事由ト生前ノ功績等トハ別個ニ究明  
スヘキモノトス殊ニ部隊ノ編成分子ヲラサル軍屬ニ在リテハ必  
任義務ノ軍人ト其ノ本質ヲ異ニスルヲ以テ必ス當時付與シタル  
任務ニ照應シテ慎重適確ニ嚴選決定セサルヘカラス特ニ宣誓未  
了ノ軍屬ニ於テ然リトス

其二 合祀名簿ノ調製

一 全般ニ就テ

名簿記載ノ各項ハ上奏竝ニ祭神名簿調製ノ基礎資料ニシテ靈  
靈神社内陣ニ奉齋セラレンカ之カ訂正ハ絶對ニ不可能ナルヲ  
以テ極メテ正確ナルヲ要ス而シテ祭神ノ命日ニハ遺族ニ對シ  
參拜ヲ案内シアル處從來位勳ノ不明官等級ノ相違等ヲ指摘シ  
來ル向モアリテ不都合多キニ付合祀名簿調製ニ方リ遺漏ナキ  
ヲ期スルハ勿論進達後ニ於テモ異動ヲ生シ又ハ齟齬ヲ發見セ  
ハ速ニ訂正報告相成度

二 遺族欄ノ記入方ニ就テ

靖國神社臨時大祭ニハ新ニ合祀セラルル祭神遺族ニ對シ妻、  
子、家督相續人、父、母、祖父、祖母、兄弟、姉妹等ノ順位  
ニヨリ案内狀ヲ發送シ一祭神ニ付二名ヲ參列セシメツツアル  
處之カ發送先ヲ誤リ爲ニ遺族間ニ紛争ヲ生セシメタル事例ア  
ルヲ以テ遺族ノ指定ハ右順位ニ依ラレ度ク留守擔當者又ハ同  
一戸籍内ノ戸主等ト誤解混同セラレザラレ度尙死歿後  
離籍セラレタル妻アルヲ以テ注意相成度

三 死亡事由欄ノ記載事項ニ就テ

本欄ノ記載事項中死歿年月日、死歿原因、死歿地點等ハ率直  
正確ナラサルヘカラス然ルニ戰時死亡者生死不明者名票竝ニ  
戸籍書類ト相違（戸籍書類ニ在リテハ一部ノ記載ヲ省略シ）シアルモノアリ  
テ其ノ何レニ據ルヘキヤニ疑惑ヲ生ルス場合アリ又屍體ヲ收  
容セサルニ拘ラス負傷當時ノ目撃、一部遺留品ノ發見ニ依リ  
「何部何々銃創ニ因リ戰死」等ト斷定シ屍體ニ關スル記述ヲ  
缺クモノアルモ此ノ如キハ最モ適當ナラサルモノニシテ部隊  
長ノ進達ノ心情ヲ疑ハサルヲ得サルモノアリ若シ假リニ敵手  
ニ入り後日生存スルニ於テハ戸籍書類等ノ如ク事務的處理ニ  
依リ解決シ得ルモノニ非スシテ神社ノ尊嚴、國民ノ崇敬立ロ  
ニシテ地ニ墮チ遂ニ御創建ノ 聖旨ニ背キ奉ルニ至ルヘキヲ  
以テ飽クマテ慎重ヲ期セラレ度然レトモ斯クノ如キモノハ誠  
ニ憐憫ノ情禁スル能ハサルヲ以テ部隊長ニ於テ合祀ノ適當ト  
認ムル場合ハ死歿ヲ立證スヘキ戰鬪ノ狀況、戰場ノ彼我勢力  
圈ノ推移、屍體ヲ收容シ得サリシ事由、屍體搜索ノ經緯等戰  
死ト認定シタル根據ヲ詳細具體的ニ記載シタル書類ヲ添附シ  
進達相成度尙右ノ場合ハ勿論其ノ他ノ死歿者ニシテ後日ニ至  
リ屍體發見シタルモノニ付テハ其ノ本人タルコトヲ確認シタ  
ル諸種ノ資料ヲ併セ進達セラレ度

四 特別合祀名簿（病歿者及之ニ準スルモノ）ニ就テ

病歿者ニシテ其ノ原因寧ろ事變勤務以外ニ在ルヲ疑ハシムル  
カ如キ疾病例ヘハ結核、胃癌、胃潰瘍、痔瘻、膽石病、糖尿  
病等ニ因リ事變地ニ到著後間モナク發病死歿シタル者、腦溢  
血、心臓麻痺ニテ死歿セル者、梅毒等ニ基因スル精神病ニ罹  
リ甚タシク常軌ヲ逸シタル行動ヲナシ爲ニ神格ヲ損フ者及自  
殺者又ハ災厄死亡者等ニシテ合祀ノ適當ト認メタル場合ニハ  
合祀ノ適當ト認メタル情狀ヲ具シタル部隊長ノ意見ヲ添付セ  
ラレ度

五 軍屬ノ合祀名簿ニ就テ  
軍屬ハ其ノ本質ニ鑑ミ合祀資格ヲ慎重ニ詮衡シテ上申スルハ  
勿論之カ合祀名簿ハ當時附與シタル任務等合祀判定ノ基礎タ  
ルヘキ要項ヲ具シ部隊長ノ判定ノ根據ヲ明カニ詳記スヘキモ  
ノナリ特ニ宣誓未了ノ軍屬及特別合祀（病死）者ニ於テ然リ

其三 合祀名簿添附書類ノ整備

添附書類ハ主トシテ死歿ノ原因ト事變勤務トノ因果關係ヲ究明  
スルノ資料ナリ然ルニ事實證明書ニハ「原因病歴書ノ如シ」ト  
アリ之ニ對スル病歴書ニハ「原因事實證明書ノ如シ」トアリテ  
原因ノ記述ナキモノ、必要以外ニ本人ノ業績ヲ讚フルノ餘リ遂  
ニ其ノ直接原因ヲ捕捉記述セサルモノ、事變勤務ノ期間特ニ事  
變地ニ到著シタル年月日不明ニシテ其ノ原因直接事變勤務ニ在  
ルヤノ資料ヲ缺クモノ、發病、初診、入院等ノ期日關係竝ニ此  
ノ間ニ於ケル本人ノ戰鬪行動又ハ勤務狀況抽象的ニシテ爲ニ事  
實ニ即シテ審査ヲ遂ケ得サルモノアルヲ以テ之カ整備ハ添附ノ  
目的ニ鑑ミ夫々問然スル所ナキ様記述セラレ度

其四 戰時死亡者生死不明者名票、戸籍書類及合祀名簿トノ關係

戰時死亡者生死不明者名票ハ其ノ事由生シタル際成ルヘク速ニ  
提出スヘキモノナルニ拘ラス之ニ先シ合祀名簿ヲ進達シ又戸  
籍上生存シタル者ニ對シ合祀上申ヲ爲スカ如キハ共ニ適當ナラ  
サルヲ以テ取扱上注意相成度

其五 合祀手續ノ進捗

現在迄ニ蒐集シタル資料ニ依リ合祀手續ノ豫定大要左ノ如シ其  
ノ都度書類進達ノ時期及其ノ他所要事項ヲ通牒スヘキモ逐次書  
類ヲ整理シ置カレ度

付箋

本通牒ハ昭和十五年陸支普第一二二五號ヲ参照セラレ度

合祀豫定時期	合祀セラルヘキ者ノ死歿時期
昭和十六年四月	昭和十三年十二月下旬マテ
昭和十六年十月	昭和十四年七月下旬マテ
昭和十七年四月	昭和十五年三月下旬マテ
昭和十七年十月	合祀未済者ノ大部





軍事秘密

靖國神社合祀資格審査上ノ參考

審査方針		事變別		摘要	
事	變地	滿	支	滿	支
<p>滿洲事變ニ關シ昭和六年九月十八日ヨリ昭和十三年十二月三十一日迄、支那事變ニ關シ昭和十二年七月七日ヨリ昭和十三年十二月三十一日迄ノ間ニ於テ死歿シタルモノノ左記ニ該當スルトキハ之ヲ合祀ス</p> <p>戦死又ハ戰傷ノ爲死歿シタル者</p>		<p>支</p> <p>支</p> <p>支</p>		<p>自昭和六、九、一八滿洲國「關東州ヲ除ク」支那河北省及中支那方面至昭和一〇、一二、三一（昭和七、八、九、十、十一年四月合祀）</p> <p>自昭和六、九、一八滿洲國「關東州ヲ除ク」北支那及上海方面至昭和一一、一二、三一（昭和十二年四月合祀）</p> <p>自昭和六、九、一八滿洲國「關東州ヲ除ク」</p> <p>自昭和一一、一二、三一滿洲國「關東州ヲ除ク」</p> <p>自昭和一二、七、七 北支那及中支那（但作戰推移ト共ニ區域至昭和一一、五、三一 的ニハ若干ノ變化アリ）</p> <p>昭和十五年十月合祀ヨリ右ノ外南支那及至昭和一一、三、七、一二 張鼓峰地方（細部略）ヲ加フ</p> <p>昭和六年九月十八日以前ノ死歿者タル中村少佐、井杉特務曹長ハ合祀セラレタルモ獨守歩一大歩上大崎金五郎（昭和六、九、一五匪賊ノ兇彈ニ斃ル）ハ後註トシテ昭和十年以來保留</p> <p>海軍特別陸戰隊××大尉ハ昭和十二年八月九日死歿シ合祀セラレアリ</p> <p>全部合祀ス</p> <p>一、昭和十三年五月二十日以前ノ傷疾疾病等ニ因ル者ハ自己ノ重大ナル過失ニアラサル限り全部合祀ス</p> <p>二、事變地ニ於ケル受傷、罹病ニ因リ内地ニ於テ死歿シタル者ハ</p> <p>① 事變地ニ於ケル罹病、受傷ハ三年以内ニ該傷病ニ基因スルモノハ合祀ス</p> <p>② 内地歸還後ノ發病ハ歸還後一年以内ノモノヲ取敢ヘス證議ス</p> <p>③ 事變地ノ受傷罹病ト死因傷病トハ直接關係ナキ場合ニ於テモ前者カ後者ノ誘因ノ一ツト認メ得ルモノハ合祀ス</p> <p>④ 事變地罹病者一旦治療退院シ後日疾病ノ爲死歿シタル者ハ死因疾病ト事變地罹病トノ間ニ關係ヲ認メ得ル者ハ合祀ス</p> <p>滿洲事變同様ニ取扱ハレタルモ昭和十五年四月二ハ左ノ標準ヲ定メ證議ス（括弧ナキハ軍人括弧内ハ有宣誓軍屬）</p> <p>① 在滿期間 脚氣、肺結核、胸膜炎等ハ 三月以上（六月以上）</p> <p>② 在支期間 二月以上（三月以上）</p> <p>但發病地ノ風土等ノ關係例ヘハ國境方面南滿方面並服務部隊等ニ依リ若干其ノ期間ヲ又急性肺炎及虫様突起炎（既往症ハ除外）等ハ期間ニツキ考慮ス</p>	
<p>事變地ニ於テ流行病ニ罹リ又ハ自己ノ重大ナル過失ニ因ラスシテ傷疾ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ之カ爲死歿シタル者</p> <p>前項事變地ニ在リテモ昭和十三年五月二十日以降滿洲國（關東州ヲ除ク）ニ於テ流行病ニ罹リ又ハ自己ノ重大ナル過失ニ因ラスシテ傷疾ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ之</p>		<p>支</p> <p>支</p> <p>支</p>		<p>滿洲事變同様ニ取扱ハレタルモ昭和十五年四月二ハ左ノ標準ヲ定メ證議ス（括弧ナキハ軍人括弧内ハ有宣誓軍屬）</p> <p>① 在滿期間 脚氣、肺結核、胸膜炎等ハ 三月以上（六月以上）</p> <p>② 在支期間 二月以上（三月以上）</p> <p>但發病地ノ風土等ノ關係例ヘハ國境方面南滿方面並服務部隊等ニ依リ若干其ノ期間ヲ又急性肺炎及虫様突起炎（既往症ハ除外）等ハ期間ニツキ考慮ス</p>	

要項	注 意 事 項												
<p>カ爲死歿シタル者ニ付テハ特別詮議ヲ以テ合祀ス</p> <p>事變地以外ノ地ニ於テ事變ニ關スル公務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ若ハ避クヘカラサル災厄ニ因リ死歿シタル者</p> <p>事變地ニ於テ自殺シタル者等ニシテ其ノ情狀合祀ヲ至當ト認ムヘキ者</p>	<p>次テ昭和十五年十月ニハ 在職期間ハ左ノ標準ニ依リ當時ノ勤務狀況ト傷痍疾病ノ種類等ヲ考慮シテ詮議ス</p> <table border="1" data-bbox="1157 750 1284 1332"> <tr> <th>區</th> <th>分</th> <th>軍 人</th> <th>軍 屬</th> </tr> <tr> <td>昭和一三、五、二〇以降ニ於ケル滿洲國（關東州ヲ除ク）</td> <td>事 變 地</td> <td>二月以上</td> <td>五月以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>三月以上</td> <td>六月以上</td> </tr> </table> <p>一、軍事輸送中ノ事故、動員編成業務中ノ事故、罹病等眞ニ直接的ナルモノニ限ル之カ爲認定困難ナルモノハ事變行賞ノ結果ヲ待テ詮議ス</p> <p>二、事變地ノ解釋ニ就テハ關東州、朝鮮等隣接地域ハ成ルヘク嚴密ニシ範圍ヲ膨脹セシメサルヲ要ス</p> <p>一、事變勤務ノ解釋ヲ嚴ニスルヲ要ス</p> <p>① 内地勤務ハ大體ニ於テ合祀セサルヲ原則トシ特別ノ者ハ考慮ス</p> <p>② 戰地ヘ輸送途中ノ死歿者ハ後日一括詮議トシ保留ス</p> <p>③ 南支那方面作戰ノ爲臺灣ニ待機中ノ期間ハ事變地ニ準シ詮議ス</p> <p>二、昭和十五年四月以降ノ審査ハ主旨ニ於テハ變化ナキモ左ノ標準ニ依リ詮議ス</p> <p>① 内地罹病及出征途上ノ發病ハ特ニ嚴選主義トス又内地動員部隊勤務中ノ者ニ付テハ現役、豫、後備役ノ役種ヲ考慮スルヲ要ス</p> <p>② 内地歸還後ノ發病殊ニ流行病ハ戰地ニ於ケル勤務ト當時戰地ニ於ケル流行病ノ猖獗狀況等直接關係ヲ考察ス</p> <p>③ 戰時警備令防空令等ニ基キ朝鮮、臺灣、關東州及内地要地ノ防空監視、射撃部隊トシテ勤務中ノ死歿者ハ警備ノ實務ニ服務中ノ事故ニ限リ詮議ス</p> <p>自己ノ重大ナル過失又ハ破廉恥ナラサルモノハ成ルヘク合祀ス</p> <p>主旨ニ於テ前項ト同様ナルモ當時ノ狀況ニ關シ精査ヲ加フ</p>	區	分	軍 人	軍 屬	昭和一三、五、二〇以降ニ於ケル滿洲國（關東州ヲ除ク）	事 變 地	二月以上	五月以上			三月以上	六月以上
區	分	軍 人	軍 屬										
昭和一三、五、二〇以降ニ於ケル滿洲國（關東州ヲ除ク）	事 變 地	二月以上	五月以上										
		三月以上	六月以上										
<p>支滿（支那支隊）</p> <p>支滿（支那支隊）</p> <p>支滿（支那支隊）</p> <p>支滿（支那支隊）</p> <p>支滿（支那支隊）</p> <p>支滿（支那支隊）</p> <p>支滿（支那支隊）</p>	<p>支滿（支那支隊）</p> <p>支滿（支那支隊）</p> <p>支滿（支那支隊）</p> <p>支滿（支那支隊）</p> <p>支滿（支那支隊）</p> <p>支滿（支那支隊）</p> <p>支滿（支那支隊）</p>												
<p>支滿（支那支隊）</p> <p>支滿（支那支隊）</p> <p>支滿（支那支隊）</p> <p>支滿（支那支隊）</p> <p>支滿（支那支隊）</p> <p>支滿（支那支隊）</p> <p>支滿（支那支隊）</p>	<p>支滿（支那支隊）</p> <p>支滿（支那支隊）</p> <p>支滿（支那支隊）</p> <p>支滿（支那支隊）</p> <p>支滿（支那支隊）</p> <p>支滿（支那支隊）</p> <p>支滿（支那支隊）</p>												

<p>軍屬ハ宣誓シタル者ニシテ眞ニ公務上ノ犠牲ト認メラルル者ニ限り特別詮議ヲ以テ合祀ス</p>	<p>審査ハ軍事行動ニ参加シタル期間及其ノ本質等ニツキ査定シ有宣誓、陸密軍屬（昭和一二、一二、六陸密第一四六二號參照）、無宣誓軍屬ノ順位ニヨリ其ノ嚴選ノ度ヲ加フルモノトス殊ニ多額ノ報酬ヲ受ケ必任義務ノ軍人ト大イニ趣ヲ異ニスル者アルニ注意スルヲ要ス又其ノ身分例ハ居留民ノ義勇看護婦ノ類ノ混入シアルヲ考慮セサルヘカラス</p> <p>二、借上船ノ船員及臺灣本島人タル軍夫等ハ軍ノ指揮下ニ在リテ戦死シタル場合ニ限リ尙全般ノ情況ヲ考察シタル後合祀スルヲ可トセン</p> <p>三、關東軍司令部ノ「タイピスト」ハ從來合祀セラレアラス</p> <p>四、西比利亞事變當時臨時備役ノ人夫、假令ハ薩哈噠ニ於ケル道路其ノ他構築ノ爲召募セシモノノ如キハ軍屬ナリト雖モ常時備役トハ其ノ趣ヲ異ニスルヲ以テ眞ニ公務上ノ犠牲ト認メラルル者ニ限り特別詮議ニ付シ合祀ヲ詮議セリ</p> <p>一、本項ハ西比利亞事變ニ於ケル特異事項トモ謂フヘク今次事變ニ於テハ該當者少シ即チ該事變ニ於テハ</p> <p>「内地部隊ニ於テ多發セル流行性感冒ノ爲死歿シタル者ハ其ノ原因戦役ニ關スル公務ニ基因シ且斃動ニ該當スヘキ功績アル者ニ限り合祀ス」</p> <p>ヘキ功績アル者ニ限り合祀ス</p> <p>ト定メラレタルニ端ヲ發シ爾來滿洲事變ヲ經テ今次事變ニ及ヒタルモノトス</p> <p>二、今次事變ニ於テハ内地勤務ノ看護婦等ニシテ内地還送傳染病患者取扱ニ因リ爲ニ傳染病ニ罹リタル者等モアルヘシ本項ヲ存置セシムル所以ナリ</p> <p>滿洲國軍ニ雇傭中ノ者ニ限ル他ノ滿洲國官廳等ニ雇傭中ノ者ハ含マサルモノトス</p>	<p>滿洲國軍ニ雇傭中ノ帝國軍人ハ日本軍ノ隷下ニ於テ戦闘シ之カ爲戦死又ハ戦傷ヲ受ケ死歿シ其ノ情狀合祀ヲ適當ト認メタル者ニ限り特別詮議ヲ以テ合祀ス</p> <p>召集セラレサル事變地居住ノ在郷軍人ハ所屬軍人會ノ命ニ依リ且日本軍隊ノ區處ヲ受ケテ行動シ之カ爲戦死又ハ戦傷ヲ受ケ死歿シ其ノ情狀合祀ヲ適當ト認メタル者ニ限り特別詮議ヲ以テ合祀ス</p> <p>軍人軍屬以外ノ警察官又ハ滿鐵社員等ノ如キハ軍人軍屬戦死ト同様ノ情況ニ於テ殉職シタルモノニ限り特ニ詮議スルモ嚴選ヲ旨トス</p> <p>以上各項ニ據リ難キ者ノ合祀資格審査ニ就テハ其ノ都度詮議スルモノトス</p>	<p>審査ハ軍事行動ニ参加シタル期間及其ノ本質等ニツキ査定シ有宣誓、陸密軍屬（昭和一二、一二、六陸密第一四六二號參照）、無宣誓軍屬ノ順位ニヨリ其ノ嚴選ノ度ヲ加フルモノトス殊ニ多額ノ報酬ヲ受ケ必任義務ノ軍人ト大イニ趣ヲ異ニスル者アルニ注意スルヲ要ス又其ノ身分例ハ居留民ノ義勇看護婦ノ類ノ混入シアルヲ考慮セサルヘカラス</p> <p>二、借上船ノ船員及臺灣本島人タル軍夫等ハ軍ノ指揮下ニ在リテ戦死シタル場合ニ限リ尙全般ノ情況ヲ考察シタル後合祀スルヲ可トセン</p> <p>三、關東軍司令部ノ「タイピスト」ハ從來合祀セラレアラス</p> <p>四、西比利亞事變當時臨時備役ノ人夫、假令ハ薩哈噠ニ於ケル道路其ノ他構築ノ爲召募セシモノノ如キハ軍屬ナリト雖モ常時備役トハ其ノ趣ヲ異ニスルヲ以テ眞ニ公務上ノ犠牲ト認メラルル者ニ限り特別詮議ニ付シ合祀ヲ詮議セリ</p> <p>一、本項ハ西比利亞事變ニ於ケル特異事項トモ謂フヘク今次事變ニ於テハ該當者少シ即チ該事變ニ於テハ</p> <p>「内地部隊ニ於テ多發セル流行性感冒ノ爲死歿シタル者ハ其ノ原因戦役ニ關スル公務ニ基因シ且斃動ニ該當スヘキ功績アル者ニ限り合祀ス」</p> <p>ヘキ功績アル者ニ限り合祀ス</p> <p>ト定メラレタルニ端ヲ發シ爾來滿洲事變ヲ經テ今次事變ニ及ヒタルモノトス</p> <p>二、今次事變ニ於テハ内地勤務ノ看護婦等ニシテ内地還送傳染病患者取扱ニ因リ爲ニ傳染病ニ罹リタル者等モアルヘシ本項ヲ存置セシムル所以ナリ</p> <p>滿洲國軍ニ雇傭中ノ者ニ限ル他ノ滿洲國官廳等ニ雇傭中ノ者ハ含マサルモノトス</p> <p>本項ニハ單獨自己ノ發意ニヨリ軍ヲ援助シ又ハ滿鐵社員其ノ他ノ職務等ニテ軍ヲ援助シタル者等ハ包含セサルモノトス</p> <p>一、滿洲事變初頭軍ノ命令ニ依リ作戰ニ協同セシ者ハ合祀セラレタルモ現下治安狀態ニ於テハ滿洲ニ關スル限リ本項該當者ナシ</p> <p>二、鐵道ニ在リテハ作戰線ナリヤ經濟線ナリヤ等（炭鑛開發等亦同シ）ヲ考慮ヲ要ス</p> <p>三、今次事變ニ於テハ陸密軍屬トシテ取扱ハルル者多キヲ以テ注意ヲ要ス</p> <p>一、滿洲事變初頭ニ於ケル國策移民、滿洲國鐵路局所屬者、協和會員等ニテ合祀セラレタル者アリ</p> <p>二、滿鐵社員等ニシテ日本軍隊指揮官ノ指揮下ニ在リテ勤務中罹病シ十分ナル治療ノ途ナク死歿シタル病死者ヲ合祀シタル例アリ</p>
---	---	--	--

【四四】昭和十六年十月 靖国神社合祀者資格審査方針（昭和16年）

軍事祕密

昭和十六年 靖国神社合祀者資格審査方針

- 一、軍人軍屬等ニシテ滿洲事變ニ關シ昭和十六年九月十八日ヨリ昭和十四年七月三十一日迄ノ間ニ於テ死歿シタル者及支那事變ニ關シ昭和十二年七月七日ヨリ昭和十四年七月三十一日迄ノ間ニ於テ死歿シタル者左記ニ該當スルトキハ之ヲ合祀ス
    - 1 戦死又ハ戦傷ノ爲死歿シタル者
    - 2 事變地（滿洲國（關東州ヲ除ク）、（註）昭和十三年八月十四日 雄基洞、灰岩洞、新阿山洞、上角山ヲ連ヌル線以東ノ朝鮮北支那、中支那及南支那ヲ言フ、以下同シ）ニ於テ流行病（（マラリア、猩紅熱、痘瘡、コレラ、發疹チフス、パラチフス、ペスト、ト肺熱、赤痢、流行性腦脊髄膜炎、トリパチフス、傷寒、カラス、サトール、黃熱チフス））ニ罹リ又ハ自己ノ重大ナル過失ニ因ラスシテ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ之カ爲死歿シタル者
    - 3 事變地以外ノ地ニ於テ事變ニ關スル公務ノ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ又ハ避クヘカラサル災厄ニ因リ死歿シタル者
    - 4 事變地ニ於テ自殺シタル者等ニシテ其ノ情狀合祀ヲ至當ト認ムヘキ者
  - 二、前項事變地ニ在リテ昭和十三年五月二十日以降滿洲國（關東州ヲ除ク）ニ於テ流行病ニ罹リ又ハ自己ノ重大ナル過失ニ因ラスシテ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ之カ爲死歿シタル者ニ付テハ特別詮議ヲ以テ合祀ス
- （註）昭和十三年五月二十日ハ徐州陥落ノ翌日トス

【四五】(航空本部庶務課長三輪大佐宛高級副官川原直一大佐書簡写)(昭和十七年三月一日)

謹啓益々御清適之段奉賀候陳者滿洲事變支那事變に際し飛行機に搭乗事變勤務に従事中に敵地に自爆等の爲屍体は收容せざるも航空關係各部隊に於て戦死と認定し靖國神社に合祀方を上申せられたるも未だに保留せられたる者は別冊の如く二五五名の多きに達し居り候全く御氣毒に堪へず且中央當事者として苦慮致し在る處に有之候

即ち各隊より提出せられたる此等の者は赫々たる武勳を奏し壯烈鬼神も泣く最後を遂げらるる者と敬々しく觀察し一日も速に合祀の恩典を奏請し英靈に對へ遺族を慰め舊上官戦友を安堵致させ度は當方終始一貫せる氣持に有之候も亦一面御承知の如く完全に戦死と報告せられたる者にして歸投する者有之之等歸投者の言や諸情報に依れば今尙生存敵側に抑留せられたる者可成有之べく判断せられ候

一旦合祀後万一生存せるが如きことあらんか其影響する處は極めて大にして其の取消は其の性質上絶対不可能に御座候間慎重に慎重を重ね戦死と稱するも屍體を收容しあらざるが如き者は「一應後日詮議」として保留せられ居り候

然共大東亞戦開始せられ作戦の規模益々擴大し既に此種犠牲者も可成多數有之今後倍加の一途を辿るべく然るに一方其自爆(死怨)等の真相を知悉する者も轉任死歿等の爲之等の調査は愈々困難に陥ることを憂慮せらるるに付成るべく速に各種の資料に依り其確實度を調査し一點の疑義無き者は成るべく本秋の臨時大祭に合祀手續を進め度存居り候間御多忙中に有之候も別紙陸密第三七一八號(ノモンハン關係死歿者靖國神社合祀の爲再調査方の件)に準據し尙確實度を決定せる理由を詳記の上該調査表二通を來る六月中旬迄陸軍省に到着する如く提出有之度及御依頼候也

昭和十七年三月一日  
高級副官 川原大佐  
航空本部庶務課長 三輪大佐殿

【四六】戦時又ハ事變ニ際シ軍人、軍属ニ非スシテ軍事行動ニ参加シ爲ニ死歿シタル者ノ身分取扱ニ關スル件中改正ノ件陸軍一般へ通牒(昭和十七年5月20日陸密第一三六八號)

秘  
陸密第一三六八號

戦時又ハ事變ニ際シ軍人、軍属ニ非スシテ軍事行動ニ参加シ爲ニ死歿シタル者ノ身分取扱ニ關スル件中改正ノ件陸軍一般へ通牒

昭和十七年五月二十日 陸軍次官 木村兵太郎  
昭和十二年十二月陸密第一四六二號中「戦地又ハ事變地ニ於テ」ヲ削除シ「戦傷(病)死シタル者」ノ次ニ「帝國領土(關東州ヲ除ク)内ニ在リテハ病死シタル者ヲ除ク」ヲ加ヘラレタルニ付通牒ス  
追テ本件ハ昭和十七年五月一日以後ニ於ケル死歿者ニ適用スルモノニ付申添フ

【四七】生死不明者ノ取扱ニ關シ左ノ通定ム(昭和十七年9月12日陸密第二六七七號)

秘  
陸密第二六七七號

生死不明者ノ取扱ニ關スル件達

陸軍一般

生死不明者ノ取扱ニ關シ左ノ通定ム

昭和十七年九月十二日

陸軍大臣 東條英機

一、生死不明ト爲リタル者アルトキハ所屬部隊長ハ手段を盡シ調査ヲ行ヒ死亡ノ確證ヲ得タル者ハ直ニ、確證ヲ得サルモ死亡ト認定スヘキ者ハ生死不明ト爲リタル日ヨリ概ネ三年以内ニ死亡確證ノ手續ヲ爲スモノトス但シ將校、見習士官、少尉候補者及准士官ニ在リテハ確證ノアルモノ以外ノ死亡ノ確證ニ關シ陸軍大臣ノ裁定ヲ經ルモノトス  
二、所屬部隊長前號ニ依リ死亡ヲ確證セハ左記事項ヲ詳記シ順序ヲ經テ陸軍大臣ニ報告スルモノトス

左記

- 1、生死不明ト爲リタル日時場所
- 2、生死不明ト爲リタル前後ノ狀況
- 3、採リタル搜索手段
- 4、死亡確證ノ理由
- 三、死亡確證後ニ於テ生存シアルコト判明セハ死亡確證ノ爲採リタル諸手續ヲ取消スモノトス
- 四、生死不明ト爲リタル者第一號ニ依リ死亡ラ 生死不明ト爲リタル日ヨリ三年ヲ經過スルモ尙生死不明ナルトキハ所屬部隊長復員(復歸ヲ命セラレタル部隊ノ長及陸軍勳員計畫令第百八十五條ノ不要人員ノ整理ヲ命セラレタル部隊ノ長ヲ含ム)ハ當分ノ内生死ノ判明スルニ至ル迄召集解除又ハ除隊ノ措置ヲ爲ササルモノトス
- 五、生死不明ト爲リタル者ニシテ民法第三十條ニ依リ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者アルトキハ聯隊區司令官(陸軍兵事部長及之ニ準スル者ヲ含ム)ハ速ニ宣告ヲ受ケタル者ノ所屬シアリシ部隊長ニ失踪宣告年月日其ノ他必要ナル事項ヲ通牒スルモノトス

附 則

昭和十五年陸密第一三三四號及昭和十六年人往第二二五五號ハ之ヲ廢止ス

【四八】支那事變、大東亞戰爭ニ関シ死歿シタル台湾本島人タル軍屬ヲ靖國神社へ合祀ニ關スル件（昭和十八年二月三日密受第三〇号）

密受第三〇号

陸軍大臣官房

支那事變、大東亞戰爭ニ關シ死歿シタル臺灣本島人タル軍屬ヲ靖國神社へ合祀ニ關スル件

昭和十八年一月四日提出

決 裁 案

支那事變以來臺灣本島人ニシテ軍屬トナリ死歿セルモノハ靖國神社へ合祀致シ度尙當分ノ間戰死、戰傷死ニ限り合祀致シ度乞 決 裁

理 由

臺灣本島人ノ皇國臣民トシテノ信念、自覺、神祇觀念共ニ未タ不充分ニシテ功利ノ域ヲ脱セサルモ志願兵制度ノ實現セラルル今日軍屬トナリ死歿セルモノハ朝鮮半島人ト同様合祀シ其ノ範圍ハ當分ノ間戰死、戰傷死ニ限ルヲ可トスルニ依ル

（※1）

（※1） 昭和十八年二月三日 決裁

（※2） 本決定に基き同年十月本島人十九柱（陸軍）合祀せらる

【四九】軍事秘密 滿洲事變支那事變 合祀者資格審査上留意セシ事項（昭和十八年7月15日）

軍事秘密（審査委員以外閱覽ヲ禁ス）

滿洲事變 合祀者資格審査上留意セシ事項  
支那事變

（昭和十八年七月十五日）  
（字句修正ノ上印刷）

一、戰死、戰傷死以外ノ者ノ戰地勤務期間ノ標準ハ特殊ノ事情無キ者ニ對スル尺度ニシテ長期ト雖モ死因ニ依ル又短期ト雖モ特ニ合祀ヲ至當トスル理由存スル者ハ左ノ如ク詮議セリ  
イ、事變初期ニ於ケル戰闘參加ハ短期ト雖モ認メタルモ單ナル戰闘參加ノ如キハ理由タリ得ズ其ノ狀況等ヲ個々ニ検討セリ

ロ、嚴寒酷暑時季ハ地域ニ依リ重視セリ

ハ、喝病、肺炎、流行性感冒、脚氣、大腸炎、盲腸ノ如キハ重視セリ

二、一般ニ長期ト雖モ内地ノ平時業務ト大差無キ環境裡ノ勤務ニ依ル死歿ハ嚴選シ可成保留セラレアリ

三、支那ニ於ケル作戦行動間ノ腸炎ハ一般ニ水ニ依ルコト大ナルニ鑑ミ大體ニ赤痢同様ニ認メタリ

四、梅毒關係特ニ之ニ基因スル精神病ハ保留セラレアリ但シマラリア、喝病ヨリ誘發セル精神病ニ類スル者ハ重視セリ

五、豫防接種ニ依ル死亡ハ單ナル接種ニアラズシテ出征準備ノ爲ナル場合ハ實情ヲ個々ニ審議重視セリ又病院ニ於ケル治療上ノ必要ニ依リ體操ヲ實施中死歿セル者ハ保留シアリ

六、内地ノ病院ニ於テ還送セル傳染病患者ヲ取扱ヒ感染死歿セル者ハ保留シアリ

七、滿洲ニ於ケル初年兵教育期間ハ事變ノ爲ニ行フ教育即チ勤務ト認メ一般ニ警備期間ニ算入シ取扱ヒアリ

八、滿洲ノ國境方面勤務者ハ一般ニ重視セリ

九、入院シアラザルモ、勤務期間永キ間ニ於ケル隊治ハ相當ニ認ム

一〇、事變地罹病者一旦治癒退院シ後疾病ノ爲死歿シタル者ハ死因疾病ト事變地罹病トノ間ニ明カニ關係ヲ有スル者ト認定セル者ニ限り嚴選

- 一、内地歸還後ノ發病ハ大體三箇月以内ノ分ヲ詮議シ其ノ他ハ特別ノ場合ノ外一般ニ保留シアリ
- 二、病死者ハ一般ニ發病後三年以内ノ死歿ニシテ一日ニテモ經過セル場合ハ一應不台祀ト決定保留シアリ、戰傷後三年經過死歿セル者モ右ニ準ジ個々ニ嚴選セルモ大部分ハ保留シアリ
- 三、「ノモンハン」事變頃ノ第五師團ノ關東州、上海戰鬪直後ノ第十一師團ノ臺灣待機ノ如キハ一般ニ事變地ニアルモノト看做シ詮議シアリ
- 四、憲兵怪シキ者ヲ發見シ取押ノ爲格闘中ニ死亡セル場合或ハ兵器廠、勤務隊等ニ於テ押收兵器彈藥等ヲ整理中ニ不慮死セル者ハ特別台祀トシアリ又支那要人祕書（護衛）等ニシテ狙撃セラレタル者ハ保留シアリ
- 五、戰地ニ出張中ノ戰死、病死ハ個々ニ嚴選主義トシ大體保留セラレアリ
- 六、内地防衛部隊ニ於テ死歿セル者ハ敵機來襲シ戰鬪セル場合ノミ認メ（敵ノ爆彈ノミニ依ルヲ要セス）其他ハ全部保留シアリ
- 七、鐵道關係ノ軍屬中ニハ本省ト鐵道省ト協定ノ上派遣シタル軍屬（第一）、現地軍ニ於テ雇傭シタル軍屬（第二）、華中鐵道其ノ他之ニ類スル鐵道等ニ勤務シ陸軍軍屬トセル者（第三）等アリ
- 左記諸項ヲ顧慮シ第一、第二、第三ノ順ニ嚴選シアリ
- 1 作戰輸送間ノ事故死亡、作戰輸送及作戰線ノ建設中ノ事故死亡、作戰線ノ保線保安ノ爲ノ事故作戰線破壞目的ヲ以テ攻撃セラレタル場合ノ事故
- 2 作戰協力目的達成ノ爲ニ止ムラ得ズシテ犯シタル非衛生ノ爲シタル病死
- 一八、野戰郵便關係者モ右ニ準ズ
- 一九、陸軍通譯ハ傭人トハ全ク立場ヲ變ヘ一般ニ重視シアリ
- 二〇、馬丁ハ一般ニ重視シアルモ關東軍司令部ノ分ハ認メアラズ
- 二一、酒保商人ハ軍屬ノ身分ヲ以テ上申セル者アルモ詮議セス（取締ノ必要上軍屬タル者多シ）
- 二二、在滿補給諸廠關係ノ軍屬病死ハ一般ニ不台祀トセリ
- 二三、在滿、在支共ニ給仕、小使、雜役夫、タイピストハ一般ニ不台祀トセリ
- 二四、軍屬タル船舶關係者ノ戰死及作戰間ノ事故ハ台祀スルモ單ナル輸送中ノ事故ハ一應不台祀トシテ保留シアリ

二五、宣撫班員ハ戰死セル場合ハ之ヲ認ムルモ其ノ他ハ一般ニ之ヲ認メズ一般ニ陸軍軍屬多シ

二六、軍夫ハ大體ニ於テ作戰行動ニ同伴シ戰死セル者ハ之ヲ認ムルモ其ノ他ノ場合ノ死歿ハ詮議セス又一般ニ本島人ノ台祀ハ昭和十八年春迄ハ保留セラレアリ

但シ軍屬ニシテ戰死、戰傷死セルモノハ一般軍屬ト同様詮議ス

二七、現地雇傭ノ病院看護婦ノ殉職セル者ハ個々ニ嚴選セリ、但シ救護看護婦、救護醫員（共ニ赤十字社派遣）等ニシテ病院船ニテ戰地——内地間往復途中患者ヨリ感染死亡セル者ノ

從來ニ於ケル特種死歿者ノ台祀、不台祀、後日詮議ノ事例左ノ如シ

參 考

査			審		
否	後	註	否	後	註
		二、二六事件ノ不慮死	合	合	合
		彈藥輸送中陸揚ノ際爆死	死	死	死
			事	事	事
			由	由	由
			ノ	ノ	ノ
			大	大	大
			要	要	要
			發	發	發
			死	死	死
			病	病	病
			地	地	地
			所	所	所
			屬	屬	屬
			氏	氏	氏
			名	名	名

内勤務期間長期ノモノハ台祀ス

二八、從軍記者ノ部隊作戰行動隨伴中ノ戰死ハ大體認ム、但シ單獨行動中ニ地雷ニ觸レタルガ如キ死歿、又ハ病死ハ認メズ、又各新聞社ノ連絡員ハ之ヲ認メズ

二九、一般ニ陸軍軍屬ハ軍屬ト爲スコトガ既ニ特別ノ恩典ニシテ之ヲ悉ク最高恩典タル靖國神社台祀ニ浴セシムルハ稀有ニシテ從來嚴選ニ嚴選ヲ重ネ大部分保留シアリ但シ通譯ハ相當ニ重視詮議シアリ右ノ中ニハ部隊長ノ不注意ニ依リ長期ニ互リ無宣誓ノ儘放置シ死歿スルヤ陸軍軍屬ト爲シタルモノアリ

例					事											
合祀	保留	合祀	〃	否	〃	後詮	否	〃	〃	〃	後詮	後詮	後詮	否	合祀	
昭和十二年八月九日死亡	昭和六年九月十五日匪賊ノ兇弾ニ斃ル	昭和六年九月十八日以前ノ死歿者	補充隊ニ於ケル教育訓練ニ於テ喝病死	罹病後三年以上経過	防空下令下ニ於ケル勤務ニ依ル不慮死	精神ニ異状ヲ呈シ脱營土民ニ殺害サル	酒興ノ同僚ノ爲刺傷ヲ受ク	口論格闘中不慮死	〃	〃	神經衰弱ニ基ク自殺	上陸戦闘及敵ノ觸雷等ニ依リ屍體收容シ得サリシモノ及收容ノ確否ニ疑義アルモノ	飛行機自爆	戦闘中行方不明トナリタルモ部隊長戰死確認又ハ認定但シ屍體ハ收容セサルモノ及收容セシト稱スルモ疑義アルモノ	自動二輪車運轉演習中不慮死	大阪兵站司令部衛兵トシテ立哨中線路上ノ障碍ヲ取除カントシテ斃死
支那	〃	滿洲	〃	内地	内地	支那	關東州	〃	支那	滿洲	支那	〃	支那	〃	〃	
陸海軍特別隊	獨守歩一大	××少佐	一步等一兵二	獨守歩十大	准下關要塞尉	伍步三長四	鐵司(鐵道手)	一野豫病六等兵	一〇野高砲隊	中騎一旅尉	大部分保留シアリ屍體收容セラレ死歿セルコト判明シ或ハ死歿ヲ立證スル有力ナル資料アリタル場合逐次合祀手續		伍工一長大	上攻城工兵廠		
××海軍大尉	××××××	××特務曹長	×××××	×××××	×××××	×××××	×××××	×××××	×××××	×××××	×××××	×××××	×××××	×××××		

【五〇】戦傷、戦病等ノ定義適用ニ関スル件陸軍一般へ通牒（昭和十九年七月十二日陸普第二六〇九号）

陸普第二六〇九號

戦傷、戦病等ノ定義適用ニ關スル件陸軍一般へ通牒

昭和十九年七月十二日

陸軍省副官 菅井斌磨

一 左記地域ニ於テハ昭和十三年陸普第六三三號ノ定義ヲ準用シ昭和十七年陸普第二六五〇號ヲ適用セザルコトニ定メラル

左記

1 千島列島（根室諸島ヲ含ム）  
但シ昭和十八年五月十三日以降トス

2 小笠原諸島（硫黄列島ヲ含ム）  
但シ昭和十九年二月一日以降トス

二 昭和十七年陸普第二六五〇號ハ昭和十九年六月十六日以降之ヲ廢止セラル  
追テ本達ニ據リ内地ニ於ケル戦死、戦傷ニ就テモ陸普第六三三號ヲ適用セラルコトトナル念爲